

視 察 報 告 書

報告者氏名 菅野浩孝 ㊟

1. 委員会名

議会広報広聴特別委員会

2. 期 日 平成26年1月28日(火)

3. 視察地及び調査事項

あきる野市議会報について

4. 所感等

あきる野市議会報について

あきる野市の議会報は、年間400万円の発行経費がついている。それにも関わらず、読者が少ないという市民の観点を持った行政職員の思いがリニューアルのきっかけとなったことを知った。議会報のリニューアルは「議会と市民との距離を縮める」ための議会報の作成を目指し、あきる野市では調査研究グループを発足させ、市民へのアンケートを実施するなど、具体的にどのような点をリニューアルすることで、市民が気軽に手に取って読んでもらえる議会報になるのかという点をしっかり行っている。この作業は、全世代の市民を対象とした議会報でありながら、特定のターゲットに絞った特集記事や写真を掲載することで、「手にとってもらう」というきっかけ作りに大きく貢献していると言える。

近年フリーペーパーがいろいろなジャンルから発行されている。特にフリーペーパーは、「読みたい」と思わなければ、読者は手にとらない。まず「手にとってもらう」というアクションを起こしてもらう必要がある。そういった意味であきる野市のリニューアル後の議会報は、手にとってもらいやすい印象を与える表紙となっている。内容も写真や図表も活用し、議員が日頃そのような仕事をしているのかが簡単かつ明瞭となっている。議会と市民の距離を縮めたいという思いが伝わってくる。あきる野市の議会報のような、誰でも手にとってくれそうな議会報を流山市でも作成できるよう、努めたい。